

事業所名

ピーオクラブ

支援プログラム(放課後等デイサービス)

作成日

令和7年

3月

18日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちそれぞれが持つ色を輝かせるような支援を目指していきます ・自由に遊び、体で感じ、経験を増やす中で集団での行動や社会性を身につける手助けを行います ・ご家族のレスパイトをお手伝いさせていただきます 							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ストレングスポイントに着目、発見し伸ばす支援を行う ・障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とする 							
営業時間		平日 学休日	9 8 時	00 30 分から	18 17 時	00 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		目的			支 援 内 容				
本人 支援	健康・生活	健康的な生活リズムや身の回りのことを自分でできる力を養う			生活リズムの確立（食事、睡眠、排泄などの習慣化） 清潔習慣の指導（手洗い・うがい・歯磨き・身だしなみ） 食事のマナーを学ぶ（正しい姿勢、箸の使い方） 安全管理の意識を持つ（交通ルール、防災訓練、危険予知のトレーニング）				
	運動・感覚	体を動かす楽しさを感じながら、運動機能や感覚の発達を促す			リトミックや体操（音楽に合わせて体を動かす） バランス感覚を養う遊び（トランポリン、平均台、ボール遊び） 微細運動のトレーニング（折り紙、ひも通し、パズルなどの手先を使う遊び） 感覚統合トレーニング（触覚・視覚・聴覚の刺激を調整する活動）				
	認知・行動	考える力や集中力を高め、自分の行動をコントロールできるようになる			学習支援（宿題のサポート、ドリル・プリント学習） 問題解決のトレーニング（「どうしたらいい？」を考える活動） ワーキングメモリーの向上（記憶ゲームや指示通りに動く練習） 自己調整スキルの習得（イライラしたときの対処法、気持ちを落ち着かせる方法）				
	言語 コミュニケーション	自分の気持ちや考えを伝える力を伸ばし、円滑なコミュニケーションを図る			言葉の発達を促す活動（絵本の読み聞かせ、しりとり、言葉遊び） 聞く力を育てる（相手の話を最後まで聞く練習、指示を理解するトレーニング） 会話のルールを学ぶ（順番を守る、適切な話し方を練習する） ジェスチャーや視線を使ったコミュニケーション（ノンバーバルコミュニケーションの習得）				
	人間関係 社会性	周りの人と適切な関係を築き、集団の中でのルールを理解する			友達との関わり方を学ぶ（挨拶・順番を守る・貸し借りの練習） 集団遊びを通じた社会性の向上（ルールのある遊び、チームで協力するゲーム） 感情のコントロール練習（怒りや不安の表し方、自己主張の仕方を学ぶ） 地域活動への参加（買い物体験、イベント参加、公共交通機関の利用練習）				
家族支援		お子さまの成長を支援するとともに、ご家族が安心して子育てできるようサポートを行っています。具体的には、子育てや発達に関する相談対応、学校や福祉機関との連携支援を通じて、不安や悩みを軽減します。また、支援制度や発達に関する情報提供を行い、家庭での関わり方についてもアドバイスを提供します。これらの支援を通じて、家庭と連携しながらお子さまの成長を支え、より良い生活環境を整えるお手伝いをしていきます。			移行支援		子どもたちが将来、自立した生活を送り、社会に参加できるように準備を進めるための支援です。具体的には、食事や着替え、買い物などの生活スキルを身につける支援や、挨拶やコミュニケーションの練習を通じて社会性を育む取り組みを行います。また会議を開催し情報共有を行っています。サポートブックを作成し具体的な配慮を得られるよう情報の提供も行っています		
地域支援・地域連携		ボランティアの受け入れを行い、地域住民や学生と交流する機会を提供しています。学校や医療・福祉機関と連携し、子どもたち一人ひとりに合った支援を行うとともに、行政とも協力して地域福祉の充実を図っています。これらの取り組みを通じて、地域全体で子どもたちを支え、安心して成長できる環境づくりを目指しています。			職員の質の向上		研修の受講や資格取得を推奨し、専門知識や支援技術を高めるほか、定期的な会議を通じて支援方法を見直し、チームとしての対応力を強化します。また、支援の振り返りや改善を重ねることで、継続的な質の向上を図ります。これらの取り組みにより、子どもたちが安心して成長できる環境づくりを目指しています。		
主な行事等		年に3回大規模行事を立案、計画し他施設との交流も兼ねて合同行事を行っております。春休み（お花見・支援終結者の卒業式・進級式）夏休み（縁日）冬休み（クリスマス会）また、基本的に子供たちの「やりたい」「やってみたい」という気持ちを大切に子供たちの意見を反映した行事内容の設定を心がけています。							

事業所名

びーすクラブ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

令和7 年

3 月

18 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちそれぞれが持つ色を輝かせるような支援を目指していきます ・自由に遊び、体で感じ、経験を増やす中で集団での行動や社会性を身につける手助けを行います ・ご家族のレスパイトをお手伝いさせていただきます 							
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチポイントに着目、発見し伸ばす支援を行う ・障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適應することができるよう当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うことを目的とする 							
営業時間		平日 学休日	10 8 時	00 30 分から	14 17 時	00 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
		目的				支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常生活に必要な基本的な力を身につけ、自立を促す				基本的な生活習慣（食事・排泄・睡眠など）の習得 清潔や衣服の着脱といった身の回りのことの自立 生活リズムの確立 体の動かし方や運動能力の発達			
	運動・感覚	身体を適切に動かし、運動能力や感覚統合を発達させる				粗大運動（歩く、走る、ジャンプするなど）の発達 微細運動（手先の操作、ハサミや鉛筆の使用など）の向上 感覚統合（視覚・聴覚・触覚などの感覚の処理と統合）の発達 バランス感覚や協調運動（目と手の連動など）の促進			
	認知・行動	物事を理解し、状況に応じた適切な行動をとる力を育てる				状況を理解し、適切に判断する力を養う・数・形・色・大小・順序などの概念を学ぶ 衝動をコントロールし、落ち着いて行動できるようにする 記憶力や注意力を向上させる・自分の気持ちや考えを適切に伝え、行動に移せるようにする ルールや順番を守り、社会の中で適切な行動がとれるようにする			
	言語 コミュニケーション	言葉の理解や表現力を育み、円滑なコミュニケーションを促す				言葉の理解力を高める（相手の話を聞き、内容を理解できるようにする） 表現力を向上させる（自分の気持ちや考えを適切な言葉で伝えられるようにする） 会話のやりとりをスムーズにする（質問に答える、相手に尋ねるなどの対話スキルを育む） 非言語コミュニケーションを学ぶ（ジェスチャーや表情、視線を使ったコミュニケーション能力の向上）			
	人間関係 社会性	他者と関わる力を育み、社会生活に適應できるようにする				他者との関わり方やコミュニケーションスキルの向上 ルールの理解や順番を守ることの学習 共感力や協力する力の育成 感情のコントロールや適切な自己表現の習得			
家族支援		子どもの成長を家庭と連携して支えることを目的としています。保護者の不安や負担を軽減し、子どもの特性に応じた関わり方や発達を促す方法を提供することで、家庭でも適切な支援ができるようサポートします。また、生活習慣の定着やコミュニケーションの促進を支援し、必要に応じて医療機関やこども園、学校（入学時）、行政と連携を図ることで、子どもが安心して成長できる環境を整えます。				移行支援		小学校への進学に向けて、学習や生活面での支援を行います。また、進学後の学習内容や生活環境に対する理解を深めるために、個別に支援を行い、子どもが不安を感じないようサポートします。学校へは支援が途切れないようにこれまでの支援内容や子どもの情報をまとめたサポートブックを保護者と作成しお渡ししています。	
地域支援・地域連携		学校や医療・福祉機関と連携し、子どもたち一人ひとりに合った支援を行うとともに、行政とも協力して地域福祉の充実を図っています。これらの取り組みを通じて、地域全体で子どもたちを支え、安心して成長できる環境づくりを目指しています。				職員の質の向上		研修の受講や資格取得を推奨し、専門知識や支援技術を高めるほか、定期的な会議を通じて支援方法を見直し、チームとしての対応力を強化します。また、支援の振り返りや改善を重ねることで、継続的な質の向上を図ります。これらの取り組みにより、子どもたちが安心して成長できる環境づくりを目指しています。	
主な行事等		月一回の母子通所では、保護者と子どもが一緒に関わりながら、適切な関わり方やコミュニケーション方法を学び、家庭での育児に役立てています。ハロウィンやクリスマスなどの特別な行事では、利用児の保護者全員が参加し、それぞれの行事に合わせたプログラムが提供され、親子で楽しく学び合う場が設けられます。これらの活動を通じて、親子の絆を深め、保護者同士の情報共有や悩みの分かち合いが行われ、成長を支援することが目的です。							